高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 国語 科目 文学国語

 教 科: 国語
 科 目: 文学国語
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3学年 A 組~ F 組

使用教科書: (筑摩書房『文学国語』

教科 国語 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】的確な読解に必要な語彙力を身につけ、文章を的確に読むために活用する。

【思考力、判断力、表現力等】読解した内容に基づき、自らの考えを論理的に構築し、的確に言語で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】自分の考えをより的確に伝わるものにするために、構成や展開、表現方法を工夫し続ける。

科目 文学国語

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】				【学びに向かう力、人間性等】						
10	学作品の読解に必要な語彙の知識や付ける。文学史を流れとしてとらえ立した時代背景の知識を得る。		作品が成立した時代背影深める。論理的に思考しし、他者と関わりあうこめ、自分の思いや考えるりする。	,て と	自らで伝	の記える	意見を構築 合う力を高	言葉がもつ価値への認識を深め葉を通して他者や社会に関わる分の意見をより伝わりやすいもいく態度を養う。	らう	とし	たり	し、自
	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		領域書			評価規準	知	思	態	配当 時数
	「舞姫」(森鷗外) 【知識及び技能】 ・本文中の常用する。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方に関連する。 ・作品に関連する。 ・作品に理解する。 ・作品で理解する。 ・作品で理解する。 ・作ので発力、判断力、表現力等】 ・方に理解する。 ・作のの事がある。 ・自、読み手の構成や最高、の確にるよの表え、主まである。 ・自、読み手の構成や最高、表現の仕方に向から力、人間性等】 ・作品全体をと自分とおし分なりの表え、でにに、表現はは、ありら自りとする。 【学びに向から力、人間性等】 ・作品全体でに、表現の仕方をとおし分なりの表現の情報を表現のは、表現の仕方を、表現に表現のは、表現のは、表現のは、表現のは、表現のは、表現のは、表現のは、表現のは、	て分・に・にる・みる・る・・・ で分・に・にる・みる・る・・・ 教育を いっぱい いっぱい かんり を のいっぱい かんり を のいっぱい かんり を のいっぱい かんり を のいっぱい かんり しゅうしゅ しゅうしゅう	勿が経験したことについ 構成をもとを深理の関を 構成考え避理の関を はて考え論理ない。 はでは、 を担いい、 のでする。報を解する。 を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 を記述する。 を記述する。 を記述する。 を記述する。 を記述する。 を記述する。 のである。 のである。 のである。 のでは、 のである。 のでのである。 のでのである。 のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので		0		語仕て・る	いられる主な常用漢字や語句・ 章の効果的な組立て方や接続の、その構造や特色などを理解し する文学史的事項を理解してい が力、表現力等】 や事柄を的確に伝え、読み手の るよう、文章の構成や展開、表 夫している。 する文学史的事項を踏まえて読	0	0	0	12
1 学期							また、主張解し、別やいまな、主張解し、判念で、主張解し、判念で、自らして路には、判念で、自らして路には、判念で、具には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象	られる主な常用漢字や語句・語彙、 的な組立て方や接続の仕方につい 特色などを理解している。 惟論の仕方など、情報の扱い方につる。 力、表現力等】 事柄を的確に伝え、読み手の理解が 文章の構成や展開、表現の仕方を工 体例を踏まえ、非言語による表現に 述の方法を把握している。 れている場や、登場人物の特徴を的	0	0		1
	「舞姫」 (森鷗外) 【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字や語句・語彙を正しく理解する。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・作品に関連する文学史的事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文学史的事項を関連させながら、作品・ 高分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人関性等】 ・作品全体をとおして現味を持った点にいて、自分なりの考えを持ち、表現しようとする。 ・作品の描写から自分なりの読みを考え、他者に説明しようとする。	て分・に・にる・みる・る・・・ で分・に・にる・みる・る・・・ 教のでは、の話。読 教のでは、の話。読 教ののののでは、の話。読 教のののののでは、	が経験したにとについ 構成を考えを理して、 構成を考えを理婚する。 構成を考えを理婚する。 構度にでは、 を発生では、 を発生では、 を発生では、 を発生では、 を発生では、 ののでは、	0	0	0	また、 で	られる主な常用漢字や語句・語彙、 的な組立で方や接続の仕方につい 特色などを理解している。 る文学史的事項を理解している。 カ、表現力等】 事柄を的確に伝え、読み手の理解が 文章の構成や展開、表現の仕方を工 る文学史的事項を踏まえて読解に活 力、人間性等】 おして、典映を持った点について、自 時ち、表現しようととしている。 6自分なりの読みを考えて、他者に	0	0	0	12

	定期考査					【知識及び技能】 ・本文中に用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力・判断力、表現力等】・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。・注路による表現について論じる叙述の方法を把握している。・作品が展開されている場や、登場人物の特徴を的確に読み取り、まとめている。	0	0		1
2 学期		・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・作品の出典となった作品を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・語彙を豊かにし、正しく活用する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「小説とは何か」(三島由紀夫) ・一人1台端末の活用	0	0	0	【知識及び技能】 ・本文中に用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・作品に関連する文学史的事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・作品に関連する文学史的事項を踏まえて読解に活かしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品全体をとおして興味を持った点について、自分なりの考えを持ち、表現しようとしている。 ・作品の描写から自分なりの読みを考えて、他者に的確に説明しようとしている。	0	0	0	8
	入試問題演習	・共通テスト、難関大学入試問題 演習	0	0	0		0	0	0	4
	定期考査		0	0	0		0	0		1
	入試問題演習	・共通テスト、難関大学入試問題演習	0	0	0		0	0	0	12
	定期考査		0	0	0		0	0		1
3 学	入試問題演習	・共通テスト、難関大学入試問題 演習								18
子期										合計 70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 国語 科目 文系古典演習

)

教 科: 国語 科 目: 文系古典演習 単位数: 6 単位

対象学年組:第 3 学年 選択

使用教科書: (第一学習社『古典探究(古文編・漢文編)』

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】的確な読解に必要な語彙力を身につけ、文章を的確に読むために活用する。

【思考力、判断力、表現力等】読解した内容に基づき、自らの考えを論理的に構築し、的確に言語で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】自分の考えをより的確に伝わるものにするために、構成や展開、表現方法を工夫し続ける。

科目 文系古典演習

文学作品の読解に必要な語彙の知識や技能を身 作品が成立した時代背景を意識しながら読解を 言葉がもつ価値へに付ける。文学史を流れとしてとらえ、作品が 深める。論理的に思考して自らの意見を構築 涯にわたって読書	への認識を深めるとともに、生
	D担い手としての自覚をもち、
め、自分の思いや考えをさらに広げたり深めた 言葉を通して他者	針や社会に関わろうとする態度
領域	

	労ニの見ためた お道見博	化谱项 目。由应		領垣	t	評価規準		思	盐	配当
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 	話·聞	書	読	1 計 御 規华	재	心	悲	時数
	古文物語『源氏物語』	・『源氏物語』の表現の特色を知り、物語の面白さや登場人物の心情を考察させる。				知識・理解 伝統的な言語文化の語彙や文法について理解 し知識をえられたかの観点から、定期考査、 小テストの成績をもとに評価する。				
	漢文 漢詩 李白「独坐敬亭山」王維 「九月九日」杜甫「江村」陶潜 「責子」杜甫「石壕吏」 諸家の思想「韓非夫」	・古体詩の特色を理解させる。 ・漢文特有の表現を理解させる。 ・すでに学習した諸家の思想と読 み比べ、違いを考察させる。	0	0	0	思考・判断 文章の内容を把握し、要旨をまとめたり意見 を表現したりすることができるかという観点 から小テスト、定期考査及びワークシートの 内容を総合的に評価する。 主体的に取り組む態度	0	0	0	48
	定期考査				0	我が国の伝統的な言語文化について、主体的に学ぶ事ができたかという観点から、授業への取り組み、課題への取り組みを総合的に評価する。				
1 学		『海氏物芸』の書田の牡なされ	0	0	0		0	0		2
期	古文 物語『源氏物語』 漢文 逸話「不若人有其宝」「不死之 道」 屈原「漁父辞」李白「春夜宴従弟 桃花園序」柳宗元「捕蛇者説」	・『源氏物語』の表現の特色を知り、物語の面白さや登場人物の心情を考察させる。 ・漢文の話の展開を理解させるとともに、登場人物の心理・性格についてそれぞれの言動から把握し、話を考察させる。 ・漢文特有の表現を理解させる。	0	0	0		0	0	0	48
	定期考査		0	0	0		0	0		2
2	古文 日記『更級日記』 物語『大鏡』 漢文 司馬遷『史記』より「管鮑之交」 「孫臏」「張儀」 「売柑者言」 入試問題演習	・『更級日記』『大鏡』の表現の特色を知らせ、物語の面白さや登場人物の心情を考察させる。・話の展開を理解させるとともに、登場人物の心理・性格についてそれでれの言動から把握し、話を考察させる。・生徒の理解度等に応じて、確認テストや入計し題の演習を取り入び応用力の養成を図る。	0	0	0		0	0	0	48
学期			0	0	0		0	0		2
	古文 随筆『枕草子』 評論『去来抄』 漢文 「売柑者言」 入試問題演習	・『枕草子』の表現の特色を知らせ、物語の面白さや登場人物の心情を考察させる。・代表的な歌論を読み、評論用語を理解する。・話の展開を理解させるとともに、登場人物の心理・性格についてそれぞれの動から把握解度等にむて、本部のも理解度等にむて、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の完成及び応用力の養成を図る。	0	0	0		0	0	0	48

	定期考査		0	0	0	0		2
3 学		・共通テスト、難関大学入試問題演習						10
学期							-	合計 210

地歴公民 科目 世界史探究 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

科 目: 世界史探究 教 科: 地歴公民 単位数: 4 単位

対象学年組:第 3 学年 C 組~ F 組

使用教科書: (詳説世界史 世界史探究 (山川出版社)

教科 地歴公民 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に 付けるようにする。

)

【思考力、判断力、表現力等】 ^{地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想 したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。}

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理
【学びに向かう力、人間性等】解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究

の目標:

科	【知識及び技能】		断力、表現力等】	【学びに向				
内条 資料	の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象に (株や日本の歴史と関連付けながら理解している はから世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ める技能を身に付けている。	とともに、諸 色などを、時期や年代、推移、 効果的に調べ つながりなどに着目して、概念 考察したり、歴史に見られる詞	限開に関わる事象の意味や意義、特 比較、相互の関連や現代世界との などを活用して多面的・多角的に 題を把握し解決を視野に入れて構 したことを効果的に説明したり、 を身に付けている。	よい社会の実現を視野に課題 身に付けている。また多面的	題を主体的 内・多角的 の自覚、	りに探究し りな考察や もが国の歴	ようとす 深い理解 史に対す	る態度 を通し る愛情、
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規	見準	知	思	態	配当時数
1 学期	・ヨーロッパ世界の変容と展開 ・東アジア世界の展開とモンゴル 帝国 ・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄 ・近世ヨーロッパ世界の動向	・封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。 ・10~12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解する。 ・主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解する。	【知識・財充・技能者を 展開になる。 展開になると 関の他に断して があるに、るのした断した。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でいるのした断したののにないを である。 でいるのしたがしたのり、 でいるののしたがした。 でいるののにないない。 でいるのでにないない。 は、できた。 である。 である。 でいる。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にないる。 にない。	いて理解、 知知 で 大 で で で で で で で で で で で に れ に れ に れ に れ に れ に に れ に に れ に に に に に に に に に に に に に	0	0	0	30
	定期考査				0	0		1
	・産業革命と環大西洋革命 ・イギリスの優位と欧米国民国家 の形成 ・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義とアジアの民族運動	・産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解する。・19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまな主義主張の特徴とあわせて理解する。・欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解する。 ・政治はよる世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解する。	「知識 ・ 技能 ・ 技	いて理解、 知知表 、知知表 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	0	0	0	30
	定期考査				0	0		1
2 学期	第一次世界大戦と世界の変容第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	・第一次世界大戦後に形成された 国際秩序の内容やその特徴、その 後の国際関係の変化について理解 する。 ・第二次世界大戦の対立の構図と 勃発から終戦までの経緯を理解する。 ・第二次世界大戦後に形成された 国際秩序の特徴を、それ以前との 相違点をふまえて理解する。	【知識・財充・技能を計画を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	いて理解、 地対考 と を ト に は に は に は に は に に に に に に に に に に に に に	0	0	0	22

	定期考査			0	0		1
	・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界	・冷戦の進展と、冷戦のもとで第 三世界の台頭がどのように進んだ のかや、キューバ危機を経て国際 社会が核兵器の制限にどのように 取り組んだのかを理解する。 ・冷戦終結後の各地の状況や地 域・民族紛争、経済における世界 の一体化について、国際情勢をふ まえたうえで理解する。	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みとと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多る問題を担めり、歴史に見らしたりのもの・多角的に考察したり、歴史に見らしたりまる力がついたからを総合的に評価する。 【実立体的に取り組む態度】世界の歴史の大きなおよい社会の展現を視野に入れてら定期考る。 【主外の歴史の大きなおよい社会の実現を視野に関わる諸事象について、よりよいものと明現も掲野に関わる諸に課題を主体的に探究しようとする態度への取り組み、トテストや課題への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	22
	・共通テスト演習	・演習を行い共通テストに対応で きる力を身につける		0	0	0	20
	定期考査			0	0		1
3 学期		・論述対策を含めた個別指導を行い、私立大学の個別試験や国公立 二次試験に対応できる力を身につ	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力がついたかという観点から定期考査、授業プリントの内容を総合的に評価する。	0	0	0	12
		ita.	【主体的に取り組む態度】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に 課題を主体的に探究しようとする態度が身に ついているかという観点から、授業への取り 組み、小テストや課題への取り組みを総合的 に評価する。				合計 140

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 地歷公民 科目 世界史探究演習

教 科: 地歴公民 科 目: 世界史探究演習 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3学年 C 組~ F 組

使用教科書: (詳説世界史 世界史探究 (山川出版社)

教科 地歴公民 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に

)

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義。特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想 したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理 解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究演習

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸 資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に思られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、	よい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を 身に付けている。また多面的・多角的な考察や深い理解を通して 涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	・ヨーロッパ世界の変容と展開 ・東アジア世界の展開とモンゴル 帝国 ・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄 ・近世ヨーロッパ世界の動向	・封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。 ・10~12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解する。 ・主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのコーロッパの状況と比較したうえで理解する。	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に視しられるりまで見られるりまでを担理し解決を視野に入れたりを表しまったがついたかという観点から定期考査、授業プリントの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】世事の歴史の大きな対象と展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野についているがというとする態度のいているかというというとする態度のいているかというというとする態度の取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1
	・産業革命と環大西洋革命 ・イギリスの優位と欧米国民国家 の形成 ・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義とアジアの民族運動	・産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解する。・19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制を1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解する。・欧米諸国の英国の武みの成果や課題を理解する。・列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解する。	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる。 課題を把握し解決を視明に入れて構想したり、投業プリントの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】 世界の歴史の大きな枠組みと展開、現を視りにかいて、よりよい社会の実態をが取りについて、よりよい社会の実態度が取りいているかという観点から、授業への取り組み、小テストや課題への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1
2 学期		・第一次世界大戦後に形成された 国際秩序の内容やその特徴、その 後の国際関係の変化について理解 する。 ・第二次世界大戦の対立の構図と 勃発から終戦までの経緯を理解す る。 ・第二次世界大戦後に形成された 国際秩序の特徴を、それ以前との 相違点をふまえて理解する。	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価はあるとを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見しられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力がついたかという観点から定期考査、授業プリントの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実態度が取りに入れて構想したり、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実態度が取りにいるかという観点から、授業への命合的に評価する。	0	0	0	10

定期考査			0	0		1
・冷戦と第三世界の台頭・冷戦の終結と今日の世界	・冷戦の進展と、冷戦のもとで第 三世界の台頭がどのように進んだ のかや、キューバ危機を経て国際 社会が核兵器の制限にどのように 取り組んだのかを理解する。 ・冷戦終結後の各地の状況や地 域・民族紛争、経済における世界 の一体化について、国際情勢をふ まえたうえで理解する。	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みと 展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、ハテストの 成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用してる 面的・多角的に考察したり、歴史に見られたり する力がついたかという観点から定期考査、 授業プリントの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】 世界の歴史の大きな体組みと展開に関わる諸 事象について、よりよい社会の実現を視身に 知りないたからに繋究したが取りに 課題を主体的に探究しようとする態度が取り 組み、ルテストや課題への取り組みを総合的 に評価する。	0	0	0	10
・共通テスト演習	・演習を行い共通テストに対応で きる力を身につける		0	0	0	10
定期考査			0	0		1
・論述対策 ・個別指導	・論述対策を含めた個別指導を行い、私立大学の個別試験や国公立 二次試験に対応できる力を身につ ける。	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察見たり、歴史に見したれる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり。要ながいかいたかという観点からに期考査、授業プリントの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に知りにいて、実別を視りについて、なり組みを総合的という観点から、複葉への取り組みを総合的となどに表で、	0	0	0	6 合
	 ・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界 ・共通テスト演習 定期考査 	・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界 ・冷戦の終結と今日の世界 ・冷戦を結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解する。 ・共通テスト演習 ・共通テスト演習 ・対策 ・協述対策 ・論述対策 ・論述対策 ・協述対策を含めた個別指導を行い、私立大学の個別試験や国公立二次試験に対応できる力を身につ	・冷戦の進展と、冷戦のもとで第 三世界の台頭がどのように進んだの成績をもとに評価する。 ・冷戦と第三世界の台頭がどのように進んだの放績をもとに評価する。 ・冷戦の終結と今日の世界 ・冷戦の終結と今日の世界 ・冷戦を終れるの本理解する。 ・冷戦を終れるの本理解する。 ・冷戦を結後の各地の状況や地域を指したりするに進んだ。 ・冷戦終結後の各地の状況や地域を表達したり、歴史に見られる課題も把型し解決を視野に入れて構想したりする。 ・冷戦終結後の各地の状況や地域を表達のいて、はりよいな情報したりする性がいる。 ・冷戦終結後の各地の状況や地域を表達のいて、はりまい社会の実現を視野に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に調査を主かいているかという観点から、授業への取り組みみ、・演習を行い共通テストに対応できる力を身につける ・満立大学の個別試験や国公立・広義とは、定期考査、小テストの成績をととに評価する。 「世界の歴史の焼きなどを活用して多します。」 ・演習を行い共通テストに対応できる力を外にいるかという観点から、授業への取り組みなが変もとに評価する。 「思考・判断」歴史的概念などを活用して多いないるかという観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 「世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたがの観点から、定期考査、小テストの成績を対しいうに変したり、農業への取り組みないもないます。 「思考・判断」歴史の見られる語を発したり、で対したが変したり、を表したり、では対したり、いえ立大学の個別試験や国公立、成績をもとに評価する。 「思考・判断」歴史の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を活動を記述を見しているが変もとに関する。 「主体的に取り組む態度】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度が取り、という観点から、授業、の取り、という観点から、授業、の取り、という観点から、授業、の取り、という記述を見していて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度がありませいに対しませいに対しませいます。 ・論述対策を表していて、よりよい社会の実現を表していて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しまうとする態度がありませいに対したり、という記述を表していて、よりよいというに対しているといるというに対しているというに対しているというに対しているというに対しているというに対しているといるといるといるといるといるといるといるといるといるというに対しているというに対しているといるといるというに対しているといるといるといるというに対しているというに対しているといるといるというに対しているというといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると	・冷戦の進展と、冷戦のもとで第 ・冷戦の進展と、冷戦のもとで第 ・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界 ・冷戦の終結と今日の世界 ・冷戦の終結と今日の世界 ・冷戦の終結と今日の世界 ・冷戦を選挙を理解する。 ・冷戦終結後の各地の状況や地域・氏族紛争・経済における世界の一体化について、国際情勢を表まえたうえで理解する。 ・冷戦終結後の各地の状況や地域・氏族紛争・経済における世界の一体化について、国際情勢を表まえたうえで理解する。 ・演習を行い共通テストに対応できる力を身についているかという観点から、授業への取り組みを総合的に評価する。 ・共通テスト演習 ・強力を身につける 「加職・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事級についているかという観点から、授業への取り組みを総合的に評価する。 ・共通テスト演習 ・強烈を行い共通テストに対応できる力を身についているかという観点から、授業への取り組みを総合的に評価する。 「思考査 「知職・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事級についているかという観点から、授業への取り組みを総合的に評価する。 「思考査 「知職・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事級についているかという観点から、定期考査、人・デストへ課題への取り組みを総合的に評価する。 「思考をもとに評価する。 「思考をしたり、歴史に見られる課題を主体的に評価する。 「思考をもとに評価する。 「思考をもとに評価する。 「思考をもとに評価する。 「思考をもとに評価する。 「思考をもとに評価する。 「思考をもとに評価する。 「思知を提り機会などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題をを指したという観点から、定期考査、大・デストの観点を視野に入れて構想したりする力がついたかという観点から定期考査、技業プリントの内容を総合的に評価する。 「世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に関ルでいる諸事象について、よりはいたの観点を視音を表したり、歴史に見られる課題を主体的に評価する。 「世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に関ルでいる諸事象について、よりはないでは、またが、表しいでは、またが、またが、表しいでは、またが、表しいでは、またが、表しいでは、またが、表しいでは、またが、表しいでは、またが、表しいでは、またが、表しいでは、またが、表しいでは、またが、またが、表しいでは、またが、またが、またが、またが、表しいでは、またが、またが、表しいでは、またが、表しいでは、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦と第三世界の台頭・	・冷酸と第三世界の台頭 ・冷酸の進展と、冷酸のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューベ危機を経て国院性会が核兵器の制限にどのように進んだのかや、キューベ危機を経て国院性会が核兵器の制限にどのように進んだり、大きなが核兵器の制限にどのように進んだり、大きなが核兵器の制限にどのように進んだり、大きながな兵器の制限にどのように関考をしたり、歴史に見られる。関連を中心が大きないう観点がいたがという観点がらた関考されて構想したりまる力がついたがという観点がらた関考さまえたうえで理解する。 ・冷酸終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をまえたうえで理解する。 ・演習を行い共通テストに対応できる力を身につける ・演習を行い共通テストに対応できる力を身につける ・漁並対策・・論述対策を含めた個別指導を行い、私立大学の個別試験や国公立である。と呼称を建したりまる地域のように誤したりまる力がついたがという観点がら、授業への取り組みを総合的に評価する。 「国施・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、おりよい社会の実現を視野に入れて構想したりまる力を身につける ・漁が対策・・論述対策・・・論述対策を含めた個別指導を行い、私立大学の個別試験や国公立である。と呼称を建したりまるが、ホテストの関連を対したの対象がある。と関係に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、ホテストの関連を担し解決を視野に入れて構想したりまる力がついたがという観点からに実期考査、投票がリントの内容を総合的に評価する。 「主体的に取り組む能度」と呼ば、日本のよりに表すといたが、という観点があら、定期考査、カーストの関連を提出した。まずリントの内容を総合的に対しまりとようとで表すといて、よりよい社会の実現を視野に入れては関したり、歴史のという観点があると表も的になりまれては関したり、歴史の表さな枠の、地域が関連を対した。と呼が表すといいでは、まりよい社会の実践を提出した。と呼が表すといいでは、よりよいとは、まりよいとは、まりまれていまりまれていまりまれては、まりまれては、まりまれていまりまれては、まりまれていまりまれていまりまれて

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 地歴公民 科目 日本史探究

 教 科: 地歴公民
 科 目: 日本史探究
 単位数: 4 単位

対象学年組:第 3 学年 C, D, E, F組

使用教科書: (『詳説日本史 日本史探究』山川出版社

教科 日本史探究

の目標:

【 知 二 識 及 び 技 能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

)

【思考力、判断力、表現力等】 ^{地理や歴史に関わる事象の意味や意義。特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想 したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。}

【学びに向かう力、人間性等】 が理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して現代社会における諸課題に対して向き合う力を養う。

科目 日本史探究

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古代からの歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、様々な諸課題の形成に関わる日本の歴史を理解するとともに、諸領教から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに 着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴	に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面 的・多角的な考察や深い理解を通して現代社会における諸課題に 対して向き合う力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	①南北朝の争乱が長期化した要因を理解させる。 ② 3 代将軍足利義満の治世を解説し、義満の政策が室町幕府の強化にどうつながったかを重点的に留意する。 ③ 4 代将軍足利義持の治世から8 代足利義政の治世を解説し、連解さどう斜陽し衰退したかを理解させる。 ④応仁の乱・明応の政変を経ささる。 ⑤賞高制・寄親寄子制・分理解さなと。 ⑥織田信長・豊臣秀吉の統一事業を理解させる。	①室町幕府の成立 ②室町幕府の展開 ③室町幕府の衰退 ④戦国時代の到来 ⑤戦国大名の領国支配 ⑥織豊政権の成立	【知識・技能】日本の歴史の大きな枠組みと 展開に関わる諸事象について理解し知識をえ られたかの観点から、定期考査、小テストの 成績をもとに開発を していて理解していて理解したがの観点から、定期考査、が表別である。 【思考・判断】歴史的概念などを活用見らした的、歴史に見りたり、歴史に見りたり、歴史に見りたり、歴史に見りたり、歴史に見りたり、歴史に関連を を担かしたからの「世界大きに見られてもでは、 授業プリントの内容を総合的に評していて、 授業プリントの内に取り組むをと展開に関わる諸 に事体的に取り組むを度】 世事象について、よりよい社会のする機関を可いているかという観点から、授業への命合的 に評価する。	0	0	0	30
学	定期考査			0	0		1
期	①江戸幕府の大名統制・職制について理解させる。 ②4代将軍家網から7代家継までの治世を理解させる。(文治政政治・元禄時代・正徳の治の解説) ③享保の改革・田沼時代・寛政の改革・天保の改革を理解させる。(列11代将軍徳川家育の治世、欧米列強の日本接近を理解させる。(多ペリー来航から欧米列強との条約調印の経過、及び尊王攘夷運動について理解させる。 ⑥薩長土肥の連合政権(明治政府)の成立過程を理解させる。	①江戸幕府の成立 ②江戸時代中期政治 ③三大改革・田沼時代 ④大御所時代・列強の接近 ⑤江戸幕府の滅亡 ⑥明治政府の成立	【知識・技能】日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用してある。 【思考・判断】歴史的概念などを活見られたかのと言語を表しましたり、歴史に見られるりを担実しられるりを把実に見られるりまる力がついたかという観点から定期考査、授業プリントの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】 世界の歴史の大きな枠はみと展開に関わる諸事象についているかという親よから、授業への取り組事象に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野についているかという観点から、授業への取り組み、小テストや課題への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	30
	定期考査			0	0		1

	①版籍奉還・廃藩置県・地租改正 を理解させる。 ②征韓論と各氏族の反乱がどう結 びついたかを理解させる。またり自由民権運動の経過を説明し、財政 政策である松方財政(関係性を理解 また第1議会がと民権運動との関係・また第1議会がと民権運動との関係・また第1 (3明治憲法の成立過程・また第1議会がと第6第0部分では一個である。 会がとする。 ④朝鮮半島侵略という外変点がして、 更に利強のアジア侵略の観解させる。 ④朝鮮半島侵略という外変点がら 日清戦争・日露戦争を理解させる。 ⑤⑥桂園時代の展開と韓国併合、 また第1次世界大戦における日本の 外交について理解させる。	①明治維新の諸政策 ②士族の反乱と自由民権運動 ③明治憲法発布と初期議会 ④日清戦争と日露戦争 ⑤柱園時代と大正政変 ⑥大正デモクラシーと第1次世界大 戦	【知識・技能】日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史情想しられる。課題を把握し解決を視野に入れて規想した方、で期考る力がついたかという観点から定期考る。 【主体的に取り組む態度】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野についているかという観点から、授業でついているかという。観点から、授業への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	33
2	定期考査			0	0		1
学期	①大戦後の恐慌・関東和恐性を発展が、・食金 災恐慌・金政政策を理解点からの五るの五名の ②閉塞感・全球がは、一般では、一般では、 ②閉塞感・中解に、の五名の五名の五名の五名の五名の五名の五名の五名の五名の五名の五名の五名の五名の	①戦後恐慌から昭和恐慌の時代・関東大震災 ②満州事変からの戦時体制 ③日中戦争・太平洋戦争 ④GHQによる占領政策・米ソ対立の 構造 ⑤朝鮮戦争・占領時代の終焉・朝 鮮特需から高度経済成長時代 ⑥平成時代(米ソ対立の終焉・バ ブル崩壊後の平成不況	【知識・技能】日本の歴史の大きな枠組みと 展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの 成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多 面的・多角的に考察したり、歴史見られる 課題を把握し解決を視野に入れて構想した。 授業プリントの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の変態度初野について、集関を祖野にのいて、実りよい社会のま態度のいているかという観点から、授業への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	33
	定期考査			0	0		1
3 学期	①共通テスト・難関大学の入試問題を解き、解説する。	①大学入試問題演習	【知識・技能】日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事的に、定期考査・ルテストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用してるの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用してるの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多の課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、歴史見られたりまる力がついたかという観点から定期考査。 【主体歴し解決をいう観点から定期考査。 【主体をいて、入れて、というとでは、まないでは、まない社会の実現を視りに要ります。 事象について、よりよい社会の実現を視りに、まないでいるかという観点から、授業への取り組み、いテストや課題への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	10 合計 140

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 地歴公民 科目 日本史探究演習

教 科: 地歷公民 科 目: 日本史探究演習 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 C, D, E, F組

使用教科書: (『詳説日本史 日本史探究』山川出版社

教科 日本史探究演習 の目標:

【知 識 及 び 技 能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

)

【思考力、判断力、表現力等】 ^{地理や歴史に関わる事象の意味や意義。特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想 したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。}

【学びに向かう力、人間性等】 解を通して現代社会における諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理

科目 日本史探究演習

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古代からの歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の 日本を広く相互的な視野から捉え、様々な諸課題の形成に関わる 日本の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な 情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにす る。	時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに 着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴	に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して現代社会における諸課題に対して向き合う力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	①南北朝の争乱が長期化した要因を理解させる。 ②3代将軍足利義満の治世を解説し、義満の政策が室町幕府の強化にどうつながったかを重点的に留意する。 ③4代年軍足利義持の治世から8代足利義勝の治世を解説し、幕間がどう斜陽したかを理解させる。 ④応仁の乱・明応の政変を経解させる。 ⑤貫高制・寄親寄する配を理解さまなと戦国時代に突入した経過を理解させる。 ⑥饋国大名の領国大名の領国大名の領域を開きた。 ⑥織田信長・豊臣秀吉の統一事業を理解させる。	①室町幕府の成立 ②室町幕府の展開 ③室町幕府の衰退 ④戦国時代の到来 ⑤戦国大名の領国支配 ⑥織豊政権の成立 上記の問題演習	【知識・技能】日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査をもとに対して、選邦・登本と、選邦・登本と、と、と、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	0	0	0	15
1	定期考査			0	0		1
期	①江戸幕府の大名統制・職制について理解させる。 ② 4代将軍家綱から7代家継までの治世を理解させる。(文治政治・元禄時代・正徳の治の解説) ③享保の改革の改革の治の寛政の改革、田沼理解させる。 ④11代将軍徳川家斉の治世と改米列強の日本統分ら欧米列強と日本統分ら欧米列強との条約調印の経過、及び多調のの程過、及び多調について理解させる。 ⑥産長土肥の連合政権(明治政府)の成立過程を理解させる。	①江戸幕府の成立 ②江戸時代中期政治 ③三大改革・田沼時代 ④大御町時代・列強の接近 ⑤江戸幕府の滅亡 ⑥明治政府の成立 上記の問題演習	【知識・技能】日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察視野に入れて行用見しれる。 「思考・判断】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察視野に入れて行規想する力がついたかという観点からだ期考る、授業プリントの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】 世界の歴史の大きな枠組みと展開、現を視野に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に関わる諸事とにかいて、よりよい社会の実現度を視りにいいるかという観点から、授業への命合的に評価する。	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1

	①版籍奉還・廃藩置県・地租改正を理解させる。 ②征韓論と各氏族の反乱がどう結びついたかを理解させ切り、財政策・とも、大直由民権運動の経過を説が、デフレ政策)と民権運動との関係性を理解させる。 ③明治憲法の成立過程・また第1議会、から第6議会までの初期議会、政府と民党の対立を理解させる。 ④朝鮮半島侵略の天がであれた。 東に列強のアジデの場所の報解といり、東に別強のアジデの場所の野が、の日清戦争・日露戦争を理解させる。 ⑤⑥桂園時代の展開と韓国併合、また第1次世界大戦における日本の外交について理解させる。	①明治維新の諸政策 ②土族の反乱発布と初期議会 ③明治憲法発布と初期議会 ④日清戦争と日露戦争 ⑤桂園時代と大正政変 ⑥大正デモクラシーと第1次世界大 戦 上記の問題演習	【知識・技能】目本の歴史の大きな枠組みと 展開に関わる諸事象について理解し知識をえ られたかの観点から、定期考査、ハテストや課題 している。 【思考・判断】歴史的概念などを活用してる 成績をもとに評価性の状態をは、歴史情想して、 の大きな、と、歴史情想して、 の大きな、と、歴史は見られたり、歴史は見られたり、 をは、 の大きな、と、と、歴史は、 の大きな、と、と、と、 を活用して、 の大きな、と、と、 を活用して、 の大きない。 を活用して、 の大きない。 の大きない。 の大きない。 の大きない。 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる諸 に関わる。 に関わる諸 に関わる。 にして、 にして、 にして、 にして、 にして、 にして、 にして、 にして、	0	0	0	16
2	定期考査			0	0		1
学期	①大戦後の恐慌・関東大震災・・金 原金融恐慌・関東大震災・・金 解禁の恐恐慌を理解されるの五る。 ②閉塞感性理解点から五多の五多の五多の五多の五多の五多の五多の五多の五多の五多の五多の五多の五多の五	①戦後恐慌から昭和恐慌の時代・ 関東大震災 ②満州事変からの戦時体制 ③日中戦争・太平洋戦争 ④GHQによる占領政策・米ソ対立の 構造 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	【知識・技能】日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査をもとに関する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用見らしたの成績をもとに野生の状態を対しているりり、歴史に構想するののでは、というというというの内容を総定しているがというの内容を総定しているがというというというというというというというというというというというというというと	0	0	0	16
	定期考査			0	0		1
3 学期		①大学入試問題演習	【知識・技能】日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象にで理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見しれるとを正見しれて「見見られてられて「見見られている」となっていたがという観点からに対する力がついたかという観点がらに評する。 【主体的に取り組む態度】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる話事場の歴史の大きな枠組みと展開に関わる話事のについて、よりよい社会の実を進度が取りに決っているかという観点から、授業で取りにいるかという観点から、授業の歌りに評価する。	0	0	0	4 合計 70

年間授業計画 新様式例

教 科: 地歴公民 科 目: 地理探究

対象学年組:第 3 学年 C 組~ 組 使用教科書: (新詳地理探究[帝国書院]

教科 地歴公民

【 知 識 及 び 技 能 】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける ようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義。特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して演奏される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
傾向性や 世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとと もに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から がどに着目しい 地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を 的・多角的に考	然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域 、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面 察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりす 構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議	無理に関わる諸事祭について、よりよい社会の実現を視野にそこ で見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うととも に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国 民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多 様な生法文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚な どを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	・都市、居住問題、衣食住、民族・ 宗教と民族問題に関する演習問題が 解ける ・中国、韓国、ASEAN諸国、インド に関する演習問題が解ける	・都市、居住問題 ・衣食住 ・民族・宗教と民族問題 ・中国、韓国、ASEAN諸国、インド	授業を聴くと同時に、プリントに記入したり作業 をしながら、内容の理解を深め、考察できたか。 授業時の応答、定期考査により理解度を評価す る。				30
1	定期考査			0	0	0	1
学期	西アジアと中央アジア、北アフリカ とサハラ以南アフリカ、EU諸国、 ロシアに関する演習問題が解ける	・西アジアと中央アジア・北アフリカとサハラ以南アフリカ・E U諸国・ロシア	授業を聴くと同時に、プリントに記入したり作業 をしながら、内容の理解を深め、考察できたか。 授業時の応答、定期考査により理解度を評価す る。				30
	定期考査			0	0	0	1
	アメリカ、ラテンアメリカ、オース トラリア、ニュージーランドに関す る演習問題が解ける	・ラテンアメリカ	授業を聴くと同時に、プリントに記入したり作業 をしながら、内容の理解を深め、考察できたか。 授業時の応答、定期考査により理解度を評価す る。				33
2	定期考査			0	0	0	1
学期	共通テスト問題に対応できる力を身 につける。私立大学の個別試験や国 公立二次試験に対応できる力を身に つける。		授業を聴くと同時に、プリントに記入したり作業 をしながら、内容の理解を深め、考察できたか。 授業時の応答、定期考査により理解度を評価す る。				33
	定期考査			0	0	0	1
3 学	共通テスト問題に対応できる力を身 につける。私立大学の個別試験や国 公立二次試験に対応できる力を身に つける。		授業を聴くと同時に、プリントに記入したり作業 をしながら、内容の理解を深め、考察できたか。 授業時の応答、定期考査により理解度を評価す る。	0		0	10
字 期				0	0	0	合計 140

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

公 民 科目 政治経済演習

単位数: 2 単位 教 科: 公 民 科 目: 政治経済演習

対象学年組:第 3 学年 A 組~ F 組
 使用教科書:
 7 詳述 政治経済 [実教出版]

 使用教材:
 政治経済資料2025 (とうほう)

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に の目標: 主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【知識及び技能】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

政治経済演習 科目

	込めとおり自成することを自由す。	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するととも	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え 方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に 見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判 断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実 現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社 会参画に向かう力を養う。	ようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において

	1		l .						
	指導内容	知識・技能	評価規準 思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	評価方法	知	思	態	配当 時数
	オリエンテーション 明治憲法体制 日本国憲法の制定 国民主権と象徴天皇制 憲法第9条と平和主義 日米安保体制 冷戦後の安全保障政策 憲法改工問題	・二つの憲法の原理と相違点について理解している。・憲法の 最高法規性と憲法改正の手続き について理解している。・日本 国憲法の平和主義の内容と日米 安保体制がうまれた背景につい て理解している。・1990年代以 停の安全保障体制の変容とこん にちの課題について理解している。	・民主政治の本質を基に、日本 国憲法と現代政治の在り方との 関連について多面的・多角的に 考察し、表現している。	・現実社会の諸課題について主 体的に追究して,日本国憲法の	定期考査 小レポート 授業プリントへの取組	0	0	0	11
	中間考査					0	0	0	1
1 学期	基本的人権の本質 平等権 自由権的基本権①精神の自由 ②人身の自由 ③経済活動の自由 社会権的基本権①生存権②教育を受ける権利 参政権・請求権 新しい人権	・憲法で保障されているさまざ まな自由権について、具体的な 非例を通じて理解させる。・現 代においても、さまざまな差別 が残っていることを具体的な事 何を通じて理解させる。 権の保障と現実の政策をめぐる 課題について着目させる。	の諸権利の内容について理解している。・冤罪や死刑制度, さまざまな差別, 生存権の保障な	て、考察・構想している。・表 現の自由の重要性について、教 科書を利用して考察・構想し、 適切に表現している。・死刑の 存在の賛否について多面的に考	定期考査 小レポート 授業プリントへの取組	0	0	0	12
	期末考査					0	0	0	1
	答案返却 夏休みの課題の説明と準備					0	0	0	2
学	国会の地位と組織 国会の権限 内閣の地位と権限 行政機能の拡大と民主化 裁判所の地位 裁判制度 司法制度改革 地方自治のしくみと課題 地方財政	・議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して無解を認めている。 ・現代日本の政治に関する諸資 料から、課題の解決に向けて考 療、構想する際に必要な情報を 適切かつ効果的に収集し、読み 取る技能を身に付けている。	ら、望ましい政治の在り方及び 主権者としての政治参加の在り 方について多面的・多角的に考	構における学習上の課題を意欲	定期考査 小レポート 授業プリントへの取組	0	0	0	13
	定期考査					0	0	0	1
	貨幣と金融のしくみ 日銀と金融政策 金融危機と金融再編 財政の役割 租税のしくみ 公債 戦後日本経済史 産業構造の転換	どの意義、金融の働きと仕組み	方,金融を通した経済活動の活 性化について多面的・多角的に	現実社会の諸課題について主体 的に追究して、現代経済のし意欲 もいたおける学習上の課題を意えり がに解決しようとしている。より よい社会の実現のために、現 代経済のしくみとその課題に、はついて多面的・多角的に考察、構 想したことを社会生活に生かそ うとしている。	定期考査 小レポート 授業プリントへの取組	0	0	0	14
	定期考査					0	0	0	1
	答案返却 3学期の授業の説明と準備					0	0	0	2
	共通テスト特講								
3 学期						0	0	0	12
									V 31
						ĺ			合計

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 公 民 科目

教 科: 公 民 単位数: 2 単位 科 目: 公共演習

対象学年組:第 3 学年 A 組~ F 組

使用教科書: 公共演習

使用教材: 政治経済資料2025 (とうほう)

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に 主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指 す。 公 民 の目標:

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【知識及び技能】

公共演習

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画 を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

公共演習 科目

	次のとわり育成することを目指す。	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するととも に、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に 調べまとめる技能を身に付けるようにする。	見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判 断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実 現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社	ようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛

_	投资办 应	指導内容			== / + :+	Δn	pa .	és	配当
	指導內容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	評価方法	知	思	態	時数
	オリエンテーション 中小企業問題 農業問題 日本の農業政策 自由化と食料自給率 消費者問題 日本の公害問題 環境問題と循環型社会	・中小企業に関連する注規制 補助金、融資制度の理解。・農 業政策の歴史、目的、および現 状の把握。・公害発生メカニズ ムや関連規例の理解。・リサイ クルや廃棄物管理の理解。	・中小企業が直面する課題を分析し、解決策を提案できる能力。・日本の農業が抱える課題を特定し、解決策を提案する課題を特定し、解決策を提案する課題を論理的に検討し、解決案を示った。消費型社会を課題となる。 ・ 11、解決策を提案する課題を論理的に検討し、解決案を示った。 では、解決策を提案を示った。 では、対策型社会を実施を示っための具体的なアイデアを提案する力。	・経営や地域活性化に関心を持 ち、積極的に調査を行う姿 勢。・農業に関する問題を主体 的に調べ、学びを深める姿	定期考査 小レポート 授業プリントへの取組	0	0	0	11
	中間考査					0	0	0	1
1 学期	賃金と労働形態 日本的雇用慣行の崩壊 女性・外国人と労働 社会保障のあゆみ 日本の社会保障制度 社会保険	・労働法や社会保障制度についての基本的な知識を理解しているか。 ・労働条件や福祉制度の仕組みを具体的に説明できる能力。 ・関連するデータや事例を活用して情報を分析できるか。	・労働環境や社会保障制度の課題を特定し、それに対する解決 策を提案できるか。 ・自分の意見を論理的に構築 し、他者に分かりやすく表現す る能力。 ・異なる視点や価値観を取り入 れて公正な判断を行えるか。	・労働や社会保障に関する課題 を主体的に調査・研究し、深く 理解しようとする姿勢。 ・自らの学びを他者を共有し、 議論を活性化させる意欲。 ・社会問題に対する関心を持 ち、積極的にその解決に向けた アイデアを模索する態度。	定期考査 小レポート 授業プリントへの取組	0	0	0	12
	少子高齢化と社会保障 期末考査					0	0	0	1
	答案返却 夏休みの課題の説明と準備					0	0	0	2
学	国際関係の基本的要因	 ・国際社会の変遷, 人権, 国家	国際社会の特質や国際紛争の	・現実社会の諸課題について主	定期考査				
	国際法 国連の原理としくみ 国連のはたらき 戦後国際政治の動向 核兵器軍縮問題 民族問題 民族問題 パレスチナ問題 旧ユーゴスラビア問題	義,国際連合をはじめとする国際機構の役割,我が国の安全保障と防衛,国際貢献について,	諸要因を基に、国際法の果たす 役割について多面的・多角的に 考察し、表現している。 ・国際平和と人類の福祉に寄与 する日本の役割について多面 的・多角的に考察, 構想し, 表 現している。	的に解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現のため に、現代の国際政治とその課題	小レポート 授業プリントへの取組	0	0	0	1:
	定期考査					0	0	0	1
	国際分業と貿易 外国為替と国際収支 国際通貨体制 世界の貿易体制 国際金融の課題 地域的経済統合 欧州連合(EI) 日本の貿易と経済摩擦 発展途上国の経済(南北問題)	・貿易の現状と意義。為替相場の変動,国民経済と国際収益済 国際協調の必要性や国際化済機 関の役割について、現実社会の 諸事象を通して理解を深めてい る。・現代の国際経済に関する諸資 特から、課題の解決に向け報を 察、構想効果的に収集し、読み 取る技能を身に付けている。	相互依存関係が深まる国際経 第の特質について多面的・多角 的に考察し、表現している。 ・国際経済において果たすこと が求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想 し、表現している。		小レポート	0	0	0	14
		1				-			_
	定期考査					0	0	0	1
	定期考査 答案返却 3学期の授業の説明と準備					0	0	0	1
3 学期	答案返却 3学期の授業の説明と準備 共通テスト特講								
学	答案返却 3学期の授業の説明と準備 共通テスト特講					0	0	0	

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教 科: 数学 単位数: 4 単位

対象学年組:第 3 学年 選択 使用教科書: (数研出版 数学Ⅲ

)

教科 数学

の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに,事象を数学化したり,数学的に解釈したり,数学的に表現・処理 したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用い て事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

科目 数学皿 の目標: 極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

	7727ET, 92,775 GC E BEEFER CC & GC 71-7 & CC 61-7	CHO DE ILIMITY D'ANCE PI COO
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的1	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察した り、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数 寸学的に考察したりする力、いろいろの関数の局所的な性 質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察した り、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的 に考察したりする力を養う。	度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を 振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようと

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	第1章 関数第2章 極限	○取り扱う関数を分数関数や無理関数に広げで関数概念の理解を一層深め、表、式、グラフを相互に関連付けて層面的に考累を含まできまであった。また、最大の表した。また、自成関数や遊関数を定めなどを用いて、合きの数例の整限を求められる方法を考できるようにで、式をありして、大をを求められる方法を考できるようにいいました。 無限等比級数の収束、発散について、無限等比級数の収束、発散について、理解できるようにする。また、無限等比級数の収束、発散について地解できるようにする。また、無限等比級数の収束、更難について地解できるようにする。また、無限等比級数の収束、更強について地解できるようにする。また、無限等比級数の収束、発散について地解できるようにする。また、無限等比級数の収束、発散について地解できるようにする。	知識・技能 数学における基本的な概念に関して理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 思考・判断 得られた知識を活用したり、図・表などを読み取るなど、思考力がついたかの観点から小テスト、定期考査の内容を総合的に評価する。 主体的に取り組む態度 数学のよさを認識し、積極的に活用しているかという観点から、授業への取り組み、提出物への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	22
1	定期考査		VAN A WELL STORY OF THE PROPERTY OF	0	0		1
- 学期		○ 微分の公式を発展させ、和、差、積 商及び合成関数、の 多項合成関数、の 多項式関数がでなな 多項式関数がでなな 別数、大きな のさまざまな関数について、接線の方と では、 できるよりにする。 のさまざまな関数について、接線の方とで がプランでは、 を取めたり、関型の凸などを調べグランでは、 極小がフランでは、 がプランでは、 を変した。 があり、 のは、 を変した。 のは、 では、 のもまざまな関数について、 を変した。 では、 を変した。 があるなを をがいたりできるといた。 では、 を変した。 では、 のものとを のものとを のものとを のものに、 に、関し、 のものとを のものとを のものとを のものとを のものとを のものとを のものとを のものとを のもの。 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。 の		0	0	0	23
	定期考査			0	0		1
2 学期		○積分法の基本的な性質や置換積 分法及び部分積分法について理解 できるようにする。また,微分不定 積分の公式を導きるように対象のを めることができるように分が求めらいろな関数の定意ができるようにする。 いろいろな関数の定意が求めらいるいろな関数のででは かるようにする。 いろいろな関数にできるようにかる 和の極限の関係を理解し、いるな問題に活用できるようにする。 積分法の有用性を認識し,図形の 面積や立体の体積を求めることなどに活用できるようにする。		0	0	0	27
	定期考査			0	0		1

	入試問題演習	入試問題を利用して問題演習を行 う			27
	定期考査		0	0	1
3	入試問題演習	入試問題を利用して問題演習を行う。 			36
学期					合計
					139

科目 数学皿演習 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学

科 目: 数学Ⅲ演習 単位数: 2 単位 教 科: 数学

対象学年組:第 3 学年 選択 使用教科書: (数研出版 数学Ⅲ

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を論案・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を扱いにある。 という となる態度の過程 を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ演習

の目標: 極限, 微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

【知識及び技能】 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 【学のようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 【学のようとき認識し積極的に数学を活用しようとする態解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする力、いろいろな関数の局所的な性 質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、 問題解決の過程を 振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようと り、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	第1章 関数 第2章 極限	○取り扱う関数を分数関数や無理関数に広げて関数概念の理解を一層深め、表案、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察できるようにする。また、合成関数や逆関数や選関数とどを用いて、合成関数やが関数を求めるとを用いて、合成の関数やが関数を求めるようにする。 ○数列の極限について、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求められる方法を考察できるようにする。また、展映等比級数の収束、発散について理解できるようにする。 多項式関数、分数関数、無理関数、三角関数、指数関数及び対数関数の順数値の極限速、指数関数及び対数関数の関数値の極限速、かることができるようにする。また、関連して関数の連続性について理解できるようにする。また、関連して関数の連続性について理解できるようにする。	知識・技能 数学における基本的な概念に関して理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 思考・判断 得られた知識を活用したり、図・表などを読み取るなど、思考力がついたかの観点から小テスト、定期考査の内容を総合的に評価する。 主体的に取り組む態度 数学のよさを認識し、積極的に活用しているかという観点から、授業への取り組み、提出物への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	11
1 学	定期考査		170 - (2) AR 2 MILLON C. MICH HILL 7 (3) 6	0	0		1
力期	第3章 微分法 第4章 微分法の応用	○微分の公式を発展させ、和、差、積、 商及び合成関数、逆関数の微分法を理解 できるようにする。 多項式関数だけでなく、分数関数、無関数 の導関数、一角関数、指数数を3分にする。 。 ○さまざまな関数について、接線の方程、 を求めたり、関数の値の増減、一分を表して、 極小、グラフトの凹凸などを測が、一分ととして、関数の局所的な変化や大域のな変化に着目し、 に、関数の局所的な変化や大域的は に着目し、力を養う。 微分法の有用性を認識できるよう、微分法を速度・加速度などの考察に活用できるようにする。		0	0	0	11
	定期考査			0	0		1
2 学期	第5章 積分法 第6章 積分法の応用	○積分法の基本的な性質や置換積分法及び部分積分法について理解できるようにする。また、微分できるよういろいろいるでは対象のできるができるようにする。いろいろな関数の定積分の公式ができるようにが定する。いろいろな関数のまた、定積分と和の極限の関係を理解し、いるな問題に活用できるようにする。 積分法の有用性を認識し、図形の面積や立体の体積とならにする。		0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
		入試問題を利用して問題演習を行					1
) 					13

	定期考査		0	0	1
3 学	入試問題演習	入試問題を利用して問題演習を行 う			18
期					合計
					70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学 C

教 科: 数学 科 目: 数学 C 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 選択 使用教科書: (数学C(数研出版)

)

教科 数学

の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに,事象を数学化したり,数学的に解釈したり,数学的に表現・処理 したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力,事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力,数学的な表現を用い て事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を扱いに向から力、人間性等と表して考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学C

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事 象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しよ うとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を 深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創 造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	複素数平面を用いて複素数を図表示 し、複素数の実数倍、和、差、積及び 病の幾何学的な意味を理解できるよう にし、図形の移動などと関連付けて複 素数の演算などの意味を考察する力を 養う。	1. 複素数平面 2. 複素数の極形式と乗法,除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	知識・技能 数学における基本的な概念に関して理解し知 識をえられたかの観点から、定期考査、小テ ストの成績をもとに評価する。 思考・判断	0	0	0	11
1			得られた知識を活用したり、図・表などを読 み取るなど、思考力がついたかの観点から小	0	0		1
学期		1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質	テスト、定期考査の内容を総合的に評価する。 主体的に取り組む態度 数学のよさを認識し、積極的に活用している かという観点から、授業への取り組み、提出	0	0	0	11
	定期考査		物への取り組みを総合的に評価する。	0	0		1
	曲線を表す式として媒介変数を用いた式や極方程式を理解できるようにし、それらを具体的な事象の 考察に活用する力を養う。	7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式 9. コンピュータといろいろな曲 線		0	0	0	13
2	定期考査			0	0		1
学期	入試問題演習	平面ベクトル、空間ベクトル、複素数平面、式と曲線と、それに関連する数 I II A B に関する分野		0	0	0	13
	定期考查			0	0		1
3 学		平面ベクトル、空間ベクトル、複素数平面、式と曲線と、それに関連する数 I II A B に関する分野		0	0	0	18
期							合計 70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 理系数学演習

教 科: 数学 科 目: 理系数学演習 単位数: 6 単位

対象学年組:第 3 学年 選択

使用教科書: (

)

教科 数学 の目標:

【 知 識 及 ぴ 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに,事象を数学化したり,数学的に解釈したり,数学的に表現・処理 したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を論案・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 理系数学演習

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的 理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に	こ 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現し、 図形の性質を論理的に考察し、事象を的確に表現して数学的に考察するカ、関数に着目して事象を数学的に考察し、問題解決の過程や結果を振り返って統	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しよ うとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を 深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創 造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	数学 I 1 数と式 2.2次関数 3.図形と計量 4.データの分析	キートレーニングを利用、式の計算、1次不等式、集合、命題と論証、最大・最小、2次方程式・不等式、最大・最小、2次方程式・不等式、最大・最小、2次方程式・不等式と角比の基本的問題(辺の形とのが表値の表別では、10形への解けるようにさせる。データの相関に関する基本的のは、10世界の確認を行う。が表別では、10世界の確認を行う。が表別では、10世界の確認を行う。が表別では、10世界の確認を行う。が表別では、10世界の確認を行う。が表別では、10世界の確認を行う。データからわかることを考察していく。	知識・技能 数学における基本的な概念に関して理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 思考・判断 得られた知識を活用したり、図・表などを読み取るなど、思考力がついたかの観点から小テスト、定期考査の内容を総合的に評価する。 主体的に取り組む態度 数学のよさを認識し、積極的に活用しているかという観点から、授業への取り組み、提出物への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	35
	定期考查			0	0		1
1 学期		順列 な		0	0	0	35

	定期考査		0	0		1
	・二項定理、整式の除法、分数式の計算・恒等式、等式・不等式の証明 ・複素数とその計算、2次方程式の理論・剰余の定理・因数定理、高次方程式・点と直線、曲線と直線・軌跡と直線・軌跡と直線・軌跡と前域、三角関数(1)・三角関数(2)、指数関数・対数関数(1)	基本的な計算からある。 でする。 ができるように、 からるように、 からるの有理化や対いて関連を解する。 ができながれて関連を解する。 を理解し、この性質を理解ける。 を理解は、この性質を理解は、このはでは、 を対し、にするでは、この性質をできる。 を対し、にするでは、 を対し、この性質を理解は、 を対し、このはでは、 を対し、このは、 を対し、このは、 を対し、このは、 には、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	0	0	0	41
	定期考査		0	0		1
1	指数関数・対数関数(2) ・導関数と接線、関数の値の変化 ・微分法の応用、不定積分、定積 分 ・面積(1)(2) ・等差数列・等比数列、種々の数 列 ・漸化式と数列、数学的帰納法・ 数列の応用 ・ベクトル、ベクトルと平面図形 ・ベクトルと空間図形 ・統計的な推測	指数できない。 マース という さい という はいい という はいい という はいい かっと できない できない できない できない ない ない はい ない	0	0	0	41
	定期考査		0	0		1
3 学期	入試演習	入試問題を利用して問題演習を行 う	0	0	0	54
						210

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 文系数学演習 α

単位数: 2 単位 科 目: 文系数学演習 α 教 科: 数学

対象学年組:第 3 学年 選択

使用教科書: (

)

教科 数学 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を 身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力,事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力,数学的な表現を用いて事象を簡潔・明 ・明本の関係を認識し統合的・発展的に考察する力を表す。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 文系数学演習 α

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に 理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解 釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に 付けるようにする。	図形の性質を論理的に考察し、事象を的確に表現して数学的に考察するカ、関数に着目して事象を数学的に考察し、問題解決の過程や結果を振り返って統	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しよ うとする態度,問題解決の過程を振り返っ考察を 深めたり,評価・改善したりしようとする態度や創 造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	数学 I 1 数と式 2.2次関数 3.図形と計量 4.データの分析 数学 A 5.場合の数と確率 6.図形の性質	キートレーニングを利用、 式の計算、1次不等式、集合、命題 と論証 2次関数、最大・最小、2次方程 式・不等式 三角比の基本、三角比と図形 三角比の基本的な定理を確認し、図 形への応用問題(辺の長さ、面積)	知識・技能 数学における基本的な概念に関して理解し知 識をえられたかの観点から、定期考査、小テ ストの成績をもとに評価する。 思考・判断 得られた知識を活用したり、図・表などを読	0	0	0	11
1	7.整数の性質	が解けるようにさせる。 データの代表値の散らばり、データ の相関に関する基本問題と標準問題	み取るなど、思考力がついたかの観点から小 テスト、定期考査の内容を総合的に評価す	0	0		1
学期		を行う。 基本的な計算や記号の確認を行う。 用語や計算方法などを確認してい く。データからわかることを考察し ていく。 順列、組合せ、独立試行の確率、反	る。 主体的に取り組む態度 数学のよさを認識し、積極的に活用している かという観点から、授業への取り組み、提出 物への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	11
		復試行の確率、条件付き確率 確率の基本計算や乗法定理、条件付 確率などを理解していく。CやPの計		0	0		1
	実践問題 ・ 数と式・集合と命題 ・ 2 次関数 ・ 実践問題 ・ 図形と計量・データの分析 ・ データの分析・場合の数と確率 ・ 図形の性質・整数の性質 ・ 総合問題	算方法を確認し、適切に立式ができるようにさせる。 三角形の性質、円の性質、方べきの 定理、空間の性質 三角形の内心や外心、重心を理解し 長さや角度を求められるようにさせる。 空間図形において、面や辺の数など		0	0	0	13
2 学	・共通テスト練習問題	を求められるようにさせる。 円の性質を理解し、長さや角度が求められるようになる。		0	0		1
- 期		約数や倍数の角形を理解し、1次不 定方程式やユークリッドの互除法が 適切に利用し求められるようにさせ る。 キートレーニングを利用して、発展 問題・実践問題を行う。時間を区		0	0	0	13
		切って問題を効率よく解くことを身 に付けさせる。		0	0		1
3 学	共通テスト演習	キートレーニングを利用して、発展問題・実践問題を行う。時間を区切って問題を効率よく解くことを身に付けさせる。 順列、組合せ、独立試行の確率、反復試行の確率、条件付き確率 三角形の性質、円の性質、方べきの定理、空間の性質、同・進数、ユータリッドの互除法、不		0	0	0	18
学期		定方程式の解法					合計 70

数学 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 科目 文系数学演習 β

科 目: 文系数学演習β 単位数: 2 単位 教 科: 数学

対象学年組:第 3 学年 選択

使用教科書: (

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を

)

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力,事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力,数学的な表現を用いて事象を簡潔・明 ・明本の表現力等 というでは、表現力等 というできます。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察 を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 文系数学演習 β

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
にする。	の性質を論理的に考察し、事象を的確に表現して数学的 に考察する力、関数に着目して事象を数学的に考察し、	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	・二項定理、整式の除法、分数式の計算 ・恒等式、等式・不等式の証明 ・複素数とその計算、2次方程式の理論 ・剰余の定理・因数定理、高次方程式 ・点と直線、曲線と直線 ・軌跡と領域、三角関数(1) ・三角関数(2)、指数関数・対数関数 (1) 指数関数・対数関数(2)	基本的な計算ができるようにする。 分母の有理化や対称式の性質を理解し、それを用いて問題を解けるようにする。 恒等式の性質を理解し、それを用いて適切 に問題を解けるようにさせる。 複楽数の計算、相互関係を理解し、適切に 計算できるようにさせる。 高次方程式が適切に計算できるようにさせる。 。 。 。 。 。 。 。 。 と直線、曲線と直線を理解し、それを適切に用いて問題を解くことができるように	【知識及び技能】 数学における基本的な概念に関して理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識を活用したり、図・表などを読み取るなど、思考力がついたかの観点から小テスト、定期考査の内容を総合的に評価する。	0	0	0	11
1	・導関数と接線、関数の値の変化・微分法の応用、不定積分、定積分・面積(1)(2)	させる。 三角関数を理解し、それを適切に用いて問題を解くことができるようにさせる。		0	0		1
学期		三角関数・指数・対数の計算が適切に行うことができるようにさせる。 指数関数・対数関数のグラフを理解させる。 環関数と接線の公式を理解し、それを適切に用いて問題を解くことができるようにさせる。 做分・積分の計算が適切に行うことができ	【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、積極的に活用している かという観点から、授業への取り組み、提出 物への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	11
		るようにさせる。 接線や面積の計算が適切に行うことができ るようにさせる。					
				0	0		1
	・ベクトル、ベクトルと平面図形 ・ベクトルと空間図形 ・等差数列・等比数列、種々の数 列 ・漸化式と数列、数学的帰納法・	ベクトルの考え方・性質を理解し、それ を用いて適切に問題を解くことができる ようにさせる。 空間図形の考え方を理解し、問題を解く ことができるようにさせる。 数列の性質や公式を理解し、それを適切 に用いて問題を解くことができるように		0	0	0	13
2	数列の応用	させる。 漸化式を理解し、それを適切に用いて問		0	0		1
学期	統計的な推測	題を解くことができるようにさせる。 帰納法を理解し、それを適切に用いて問題を解くことができるようにさせる。 統計分野全般の性質や公式を理解し、それを適切に用いて問題を解くことができるようにさせる。		0	0	0	13
				0	0		1
	共通テスト練習問題	共通テスト向けの問題に取り組み、共通テストの形式に慣れ、理解を深めさせる。		0	0	0	18
3 学							
期							
							<u>∆</u> ∌l.
							合計 70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 物理

 教 科: 理科
 科 目: 物理
 単位数: 6 単位

対象学年組:第 3 学年 選択 使用教科書: (「物理」 数研出版

使用教科書: (「物理」 数研出版

教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究	9 自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	●各項目を理解する。 物体が帯電する仕組み 静電誘導 電場・電位 電位差と仕事、演習	●各項目について、物理的・論理的に理解し、説明できるようになる。。・静電気・物体が帯電する仕組み・クーロンダ・誘電分極・電場・電位・電位差と仕事・電場を確位差の関係	〈評価の観点〉 ①関心・意欲・態度自然の事物・現象に 関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究 しようとするとともに、科学的態度を身に付 けている。			0	26
	定期考査		②思考・判断・表現--自然の事物・現象の	0	0		1
1学期	●各項目を理解する。 物質と電場 停と電場 海体と電場 河ブンサー の電気容量 コンンデンサーの接続 コンデンサーに蓄えられるエネル 洋習 電流 直流 回路 演習	●各項目について、物理的のに理解した。 解し、説明できる位置エネルギー ・離位の点重常がまりの電位・電位の点重なのでできるでは、 ・電位のの点重なのでででででででででででででででででででででででででででででででででで	中に問題を見いだし、探究する過程を通理して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ③観察・実験の技能観察・一実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの科過程や結果を的確に記録、整理し自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 ④知識・理解ーー自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 〈評価の方法〉 定期考査、実験レポート、提出課題等で評価する。			0	50
	定期考査			0	0		1
2学期		●各項目について、物理的・論理的に理解した。 解し、説明四できる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				0	34
	定期考査			0	0		1

●各項目を理解する。 射線とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子 総合演習	●各項目について、物理的・論理的に理解し、説明できるようになる。 ・			0	
定期考査		0	0		
総合演習	物理全分野の総合演習で、思考力を育成する。				
i	1				

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学

 教 科: 理科
 科 目: 化学
 単位数: 6 単位

対象学年組:第 3 学年 選択

使用教科書: (化学(数研出版)

教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての観察、実験などを行うことを通して、物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	収集, 仮説の設定, 実験の計画, 実験による検証, 実験 データの分析・解釈などの探究の方法を習得させるとと	る気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	化学平衡	可逆反応と化学平衡 平衡状態の変化 電解質水溶液の化学平衡	実験レポート、課題・宿題、授業への取り組み等を総合的に判断する。			0	26
	無機物質	非金属元素					
1	定期考査			0	0		1
学期	無機物質有機化合物	金属元素 (I) 典型元素 金属元素 (II) 遷移元素 有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 アルコールと関連化合物	実験レポート、課題・宿題、授業への取り組み等を総合的に判断する。			0	50
	定期考査			0	0		1
	有機化合物 高分子化合物	芳香族化合物 高分子化合物の性質 天然高分子化合物 合成高分子化合物	実験レポート、課題・宿題、授業への取り組 み等を総合的に判断する。			0	34
2	定期考査			0	0		1
学 期	総合問題演習	総合問題演習	実験レポート、課題・宿題、授業への取り組み等を総合的に判断する。			0	42
	定期考査			0	0		1
	総合問題演習	総合問題演習	実験レポート、課題・宿題、授業への取り組み等を総合的に判断する。			0	54
3 学期							
							合計 210

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 生物

 教 科: 理科
 科 目: 生物
 単位数: 6 単位

対象学年組:第 3 学年 選択 使用教科書: (「牛物」第一学習社

使用教科書:(「生物」第一学習社

教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。		自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲 的にそれらを探究しようとするとともに、科学 的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	① 刺激の受容のしくみについて理解する ② 神経系の構造と機能について理解する ③ 効果器と反応について理解する ④ 生得的な行動について理解する ⑤ 学習による行動について理解する	第8章 動物の反応と行動 1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動	〈評価の観点〉 ①関心・意欲・態度――自然の事物・現象に 関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究 しようとするとともに、科学的態度を身に付 けている。			0	26
学	定期考査 ① 環境に応じた植物の成長について理	第7章 植物の環境応答	 ②思考・判断・表現--自然の事物・現象の 中に問題を見いだし、探究する過程を通理し	0	0		1
捌	回 衆境に応じた権物の成長について理解する ② 植物の成長に関与する植物ホルモン の種類と働きについて理解する	用・7 早 価例の現場応告 1. 植物の環境応答とそのしくみ 第 9 章 個体群と生物群集 1. 個体群 2. 生物群集	て,事象を科学的に考察し,導き出した考え を的確に表現している。 ③観察・実験の技能観察実験を行い,基 本操作を習得するとともに、それらの科過程			0	50
	定期考査		や結果を的確に記録,整理し,自然の事物・ 現象を科学的に探究する技能を身に付けてい	0	0		1
	① 生物の分類と系統について理解する ① 真核生物ドメインにおける系統関係 について理解する 第1章 細胞と分子についての問題演習	第11章 生物の進化 1. 進化のしくみ 2. 生物の起源と生物の変遷	る。 ④知識・理解自然の事物・現象について,基本的な概念や原理・法則を理解し,知識を身に付けている。			0	34
2	定期考査		 <評価の方法> 定期考査、実験レポート、提出課題等で評価	0	0		1
学期	第2章 代謝についての問題演習 第3章 遺伝の発現調節についての問題演習 第4章 有性生殖についての問題演習 第5章 発生についての問題演習	第12章 生物の系統 1. 生物の分類の変遷と系統 2. 生物の系統関係	する。			0	42
	定期考査			0	0		1
3 学 #	共通テスト対策問題演習	共通テスト対策問題演習					54
期							合計 210

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学基礎演習

教 科: 理科 科 目: 化学基礎演習 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 選択 使用教科書: (化学基礎(数研出版)

使用教科書: (化学基礎 (数研出版)

教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎演習

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての観察、実験などを行うことを通して、物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図る。	て、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	問題演習 物質の構成 純物質と混合物 物質とその成分 物質の分離・精製	物質の状態に関して、状態変化について学び、その中で気体の性質 について基本的な性質を理解できるようにする。実在気体と理想気 体の違いについても触れる。	知識・技能 自然科学における基本的な概念に関して理解 し知識をえられたかの観点から、定期考査、 単元テストの成績をもとに評価する。	0	0	0	12
1	定期考查	粒子の結合に関して、イオン結	思考・判断 科学的な知識を活用したり、図・表などを読	0	0		1
学 期	問題演習 粒子の結合	の結合 ても学び、分子結晶の構造や水素 結合などにも触れる。 5定期考査、実験レポートの内容を総合的に評価する。	0	0	0	13	
	定期考査		主体的に取り組む態度 科学的な現象を論理的に理解し、身近な現象 に応用しているかという観点から、授業への	0	0		1
	問題演習 物質量と化学反応式 物質量 化学反応式と物質量	物質量について、化学反応式の量 物質量について、化学反応式の量 的関係に関する課題に対応できる ように指導する。	取り組み、実験・観察レポートや課題への取り組みを総合的に評価する。	0	0	0	12
2				0	0		1
学 期		酸と塩基の反応に関連して、溶液 の性質について理解できるように 指導する。		0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
3 学		電池と電気分解について酸化還元 反応で説明できるようにする。 電池と電気分解が、化学エネル ギーと電気エネルギーの変換であ ることが理解できるように指導する		0	0	0	16
期							合計 70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 生物基礎演習

)

教 科: 理科 科 目: 生物基礎演習 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 選択

使用教科書: (教科 理科 の目標:

【知識及び技能】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】観察,実験などを行い,科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎演習

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATP が関わることを理解している。・光合成と呼吸では、共にATPの合成が行われていることを理解している。	ATPが関わっていることを理解する。	<評価の観点> ①関心・意欲・態度−−自然の事物・現象に 関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究 しようとするとともに、科学的態度を身に付 けている。			0	12
1	定期考査		②思考・判断・表現--自然の事物・現象の	0	0		1
学 期	・遺伝子とDNAと染色体の関係を理解する。 ・DNAの構造の特徴を見いだし、DNAの基本的な構造を理解する。	遺伝子とDNAと染色体の関係、DNAの構造 の特徴、DNAの半保存的複製を理解して いる。 ・細胞分裂時,DNAは2個の娘細胞に等し	中に問題を見いだし、探究する過程を通理して、事象を科学的に考察し、導き出した考え を的確に表現している。				13
	・塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることを理解する。 ・多細胞生物では、分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。	〈分配されることを理解している。	③観察・実験の技能観察ーー実験を行い,基本操作を習得するとともに、それらの科過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。			0	
	定期考査		④知識・理解--自然の事物・現象につい	0	0		1
	・体液の種類と関係について理解している。 ・赤血球、白血球、血小板、血しょうの 特徴や働きを理解している。 ・脳幹の働きと、脳死について理解す	・恒常性と体液の種類である血液、組織 液、リンパ液について理解する。 ・脳幹の働きと脳死について理解してい る。 ・交感神経と副交感神経の分布と働きを	て、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。				12
	る。 ・自律神経系は交感神経と副交感神経が 拮抗的に働くことによって体内環境を調 節していることを理解する。	理解している。 ・さまざまな内分泌系のしくみとホルモンの働きを理解している。	<評価の方法> 定期考査、実験レポート、提出課題等で評価 する。			0	
2	定期考査			0	0		1
学期	・皮膚などによる生体防御について理解 している。 ・自然免疫・獲得免疫のしくみ、抗原抗 体反応のしくみ、二次応答を理解してい る。	・皮膚や粘膜による生体防御について理解する。 ・免疫を担う細胞や器官の種類と働きの 概要を理解する。 ・自然免疫のしくみを理解する。					13
	・アレルギー・自己免疫疾患・エイズの しくみを理解している。 ・予防接種や血清療法は、二次応答を利 用した医療であることを理解している。	・獲得免疫による病原体排除の流れを理解する。 ・工次応答や拒絶反応が起こるしくみを理解する。				0	
	定期考査			0	0		1
	共通テスト対策問題演習	共通テスト対策問題演習					
							16
3 学							
期							
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教 科: 保健体育 単位数: 3 単位 科 目: 体育

対象学年組:第 3 学年 A 組~ F 組

教科担当者: (ABEF組:佐藤、植木、増田、金島、石塚) (CD組:佐藤、植木、増田、金島)

使用教科書: (新高等保健体育(大修館書店)、図説新高等保健(大修館書店)、ステップアップ高校スポーツ2025(大修館書店))

教科 保健体育 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある 生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
や喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を 発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断	り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参
継続することができるようにするため運動の多様性 や体力の必要性について理解するとともに、それら の技能を身に付けるようにする。		回する、一人一人の違いを大切にしようとするなと の意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生 涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元1:バンケ 単元2:バスケ 単元3:サッカー 単元4:テニス 共通:体力テストの計測 【知識・技能】 ・基礎技能の習得 ・健康・安全の技能習得 ・健康・安全の技能習得 ・健康・安全の技能習得 【思考・判断・表現】 ・運動や健康に思考・判断・表現 ・解決に向けた思考・判断・表現 【主体的に学習に取り組む態度】 ・継続して運動に親しむ	基礎技能・知識 ・パス、サーブ、スパイク ・パス、ドリブル、シスート ・サーブ、ストローク、ボレー ・基礎ルール、審判 指導形式 ・一斉指導 ・ペア・グループ学習 教具・教材 ・ボール、ビブス、タイマー ・教科書、副教材 ・ICT端末 ・振り返りカード	【知識・技能】 ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・生涯にわたって継続して運動に親しむことができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。	0	0	0	42
	スキルステスト			0	0		1
2 学期	単元1:バレー 単元2:卓球 単元3:サッカー 単元3:サッカー 単元3:サッカー 単元4:テニス 共通:体育理論 【知識・技能】 ・基礎技能の習得 ・健康・安全の技能習得 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての課題発見 ・解決に向けた思考・判断・表現 【主体的に学習に取り組む態度】 ・継続して運動に親しむ	基礎技能・知識 ・パス、サーブ、スパイク ・サーブ、ストローク、スマッシュ ・サーブ、ストローク、ボレー ・基礎ルール、審判 指導形式 ・一斉指導 ・ペア・グループ学習 教具・教材 ・ボール、ビブス、タイマー ・教科書、副教材 ・ICT端末 ・振り返りカード	【知識・技能】 ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯にわたって継続して運動に親しむことができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。	0	0	0	42
	スキルステスト			0	0		1

3 学期	単元1:バレー 単元2:卓球 単元3:中球カー 単元4:テニス 共通:体育理論 【知識・技能】 ・基礎技能の習得・健康・安全の技能習得 ・健康・安全の技能習得 ・健康・実全の技能習得 【思考・判断・表現】 ・運動や健康につの課題発見 ・解決に向けた思考・別組む態度】 ・継続して運動に親しむ	基礎技能・知識 ・各種ストローク ・基礎ルール、審判 ・ランニングフォーム 指導形式 ・一斉指導 ・ペア・グループ学習 教具・教材 ・ラケット、ボール、タイマー ・教科書、副教材 ・ICT端末 ・振り返りカード	【知識・技能】 ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会 生活における健康・安全について理解すると ともに技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての自他や社会の課題を 発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考 し判断するとともに他者に伝えることができ る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯にわたって継続して運動に親しむこと ができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明る く豊かで活力ある生活を営む態度が身につい ている。	0	0	0	18
	スキルステスト			0	0		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 芸術 科目 音楽皿

 教 科: 芸術
 科 目: 音楽皿
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 選択

使用教科書: (Joy of Music 教育芸術社)

教科 芸術 の目標: 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の 芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける

知識及び技能」ようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく 態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽皿 の目標: 音楽系大学受験の生徒の合格に向けた実技指導、面接指導、音楽理論の習得に努める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	することや、音楽を評価しながらよさや美しさ	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むと ともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を 創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

		北道荷口,由 森		表現	ł						配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	歌	器	創	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	A 単元 【知識及び技能】 楽典 音程マスター 音階マスター 調音・新曲演習	 ・指導事項 大学入試に向け。必要な力を身に つける。 ・教材 コンコーネ50番 コーリューブンゲン 大学入試問題過去問集 	0	0		0	制限時間内に正確に判定できる力をつける。 ・音程 ・音階 ・調整 ・音楽用語	0	0	0	6
1	【思考力、判断力、表現力等】 【知識及び技能】 楽典 和音について 調判定について 専攻主科 楽器演奏	・指導事項・教材 コンコーネ50番 コーリューブンゲン 大学入試問題過去問集 楽典(黄色本)			0		新曲視唱を正確に美しく歌うことができるように指導する。 ・新曲視唱問題 桐朋音楽大学問題集 東京音楽大学問題集 武蔵野音楽大学問題集	0	0	0	6
学期	【知識及び技能】 副科 ピアノ演習 楽典 過去問 演習 調音・新曲 演習	 ベートーヴェン 第九鑑賞 小澤征爾指揮 サイトウキネンオーケストラ ・第九 合唱部分 歌唱 ・数材 コンコーネ50番 コーリューブンゲン 大学入試問題過去問集 楽典(黄色本) 	0	0	0	0	ソルフェージュに関する力を高める指導を行う。 ・初見能力の向上と演習 ・新曲視唱問題 桐朋音楽大学問題集 東京音楽大学問題集 武蔵野音楽大学問題集 東京学去大学過去問	0	0	0	6
	【知識及び技能】 楽典 和音について 調判定について 専攻主科 楽器演奏	・教材 コンコーネ50番 コーリューブンゲン 大学入試問題過去問集 楽典(黄色本)	0	0	0		楽典回答能力を高める 楽典基礎演習 桐朋音楽大学問題集 雨京音楽大学問題集 東蔵野音楽大学問題集 東京学芸大学過去問	0	0	0	8
2	【知識及び技能】 応用レヴェル問題演習	 第九 合唱部分 歌唱 教材 コンコーネ50番 コーリューブンゲン 大学入試問題過去問集 楽典(黄色本) 	0	0	0	0	歌唱能力の向上 初見能力と歌唱表現能力の向上を図る 過去問を丁寧に正確に解く力を養う。 楽典の基礎能力を確立する。	0	0	0	14
学 期	【知識及び技能】 音楽用語と表現 実際の楽曲での使用例を検証	・第九 合唱部分 歌唱 ・教材 コンコーネ50番 コーリューブンゲン 大学入試問題過去問集 楽典(黄色本)	0	0	0	0	一人でも堂々と人前で演奏する感覚を 身につける。 入試も演奏会のように、説得力と音楽性のある豊かな演奏をするよう指導する。	0	0	0	16

	【知識及び技能】 東京芸術大学過去問 東京学芸大学過去問 桐朋音楽大学過去問 武蔵野音楽大学過去問	過去問 試験スタイル演習	補講	0	0	0	4
3 学期							合 計 60

科目 音楽探究 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 芸術

科 目: 音楽探究 単位数: 2 単位 教 科: 芸術

対象学年組:第 3 学年 選択

使用教科書: (高校生の音楽① 教育芸術社

の目標: 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の 芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 教科 芸術

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

ヴァイオリン属について (楽器の

素材、各所名称、弦の名前など調弦、弓の持ち方、楽器の構え方

用がない演奏 ファーストポジション 初歩的なメソッドで演奏練習

音階、第九のメロディ

スコアをみながら鑑賞 DVD(小澤征爾指揮)鑑賞

ベートーヴェンについて 第九を合唱しよう!

キーボードで演奏しよう。 ピアノ基礎技法

ピアソラ合奏

CAPS

バイエル96番程度の楽曲の演奏 運指法、体の使い方、実技指導

花、早春賦、夏の思い出、この 道、赤とんぼ、椰子の実など(幼 児教育科受験生対応)

紙コップを使ったリズム音楽の創

… 自分たちで選択した楽曲に振り付 けを考えて発表する。

音階 カデン

楽器について

開放弦の演奏

合奏

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽探究

弦楽器の歴史

学期

ヴァイオリン実技

ベートーヴェン第九

鑑賞と合唱

ピアノ実技

日本歌曲歌唱

期

期

創作

の目標: ヴァイオリン奏法など、実技の体験を通して一生涯音楽を愛好する感性を豊かに育む。

思考・判断

各ポイント

できているか。

 \bigcirc

0

内容を総合的に評価する。

主体的に取り組む態度

音楽をツールとして表現の仕方を模索できて いるかという観点から実技試験、発表会での

音楽表現に自らの意思を投影し、多様な音楽 日本なれた日からになっているかという観点に 体験を積めるようになっているかという観点 から、授業への取り組み、実技発表や発表会 への取り組みを総合的に評価する。

・ヴァイオリン・・正しい姿勢、正しい持ち 方、正しいボーイングを意識して取り入れて いるか。

・ヴァイオリン・・正しい音程をとろうと努めているか。

・手首の動きをしなやかに滑らかに音階を弾 こうと取り組んでいるか。 ・日本歌曲の歌唱にあたり、正確な音程で美

しい日本語の発声を目指して発声している

・紙コップを使ってリズムと動きを組み合わせ、グループで協力して一つの作品を創り上げる。過去の先輩の動画を参考に、オリジナ

ルの作品を考えることができるか。

・意欲的に実技に取り組んでいるか。 ・キーボードでピアノ演奏演習の際、背筋を伸ばして肘のポジションを適切にコントロール 0 0 12

ololol

0 0 0 16

0 0 10

60

 \bigcirc

8

8

٠.									-			
	【知識及び技能】]	思考力、判断	断力、割	現:	力等]	【学びに向かう力、人間	引性等]		
٤	想と音楽の構造や文化的・歴史的背の関わり及び音楽の多様性についてともに、創意工夫を生かした音楽表めに必要な技能を身に付けるように	理解する することや, 現をする ら味わって聴	音楽を評価	しなが	らよ	さり	き		生活	さ社	会を	
				表	現							配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	3	歌	器		鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	大学受験で音楽が必要な生徒に対す る指導	受験時に必要な試験内容 ①歌唱課題②ピアノ実技 典④聴音⑤新曲視唱など	課題③楽					知識・技能 音楽表現における基本的な技能を習得できっ	1 , 8 ,			

 \bigcirc \bigcirc

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション皿

教 科: 外国語 科 目: 英語コミュニケーションⅢ 4 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ F 組

使用教科書:(Element English Communication Ⅲ(啓林館), Cutting Edge Blue (エミール)

教科 英語コミュニケーションⅢ

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面,状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの論理展開や概要、要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったり、会話を発展させることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自 律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ

【知識及び技能】 【思考力、判断	カ、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】
て、語彙や表現などの用法や意味を理解している。また、 報告文や新聞記事などの多様な英文から情報を読み取り、 りして、情報や考えなどの論	語、インタビュー、ニュー 文や記録文を聞いたり読んだ 。また、学習した内容を相手に配慮しながら、主体的、自 理展開や概要、要点を的確に 習した内容について、自身の 物をについて、自身の 拠とともに、詳しく伝えてい 文章を書こうとしている。

Bill	Т				#7
### を定着させる。	思怠	思	態		配当時数
を定着させる。	0 0	0	С) 1	12
Lesson 3, Chapter 5,6	0 0	0	С) 1	12
Realth and Life 貴重な教訓 コークVSペプシ	0				1
Humans and Technology 動物の社会的距離	0 0		С) 1	12
2 Lesson 5, Chapter 9, 10 ・語句の意味. 文法事項および発音 を定着させる。	0 0	0	С) 1	12
学期 を定着させる。 はの不規則な飛び方を可能にしている要因を読み取らせる。 いる。 蝶の羽の色が生存戦略にどう関係している要因を読み取らせる。 いる。 蝶の羽の色が生存戦略にどう関係しているかを理解できる。 いるのがを理解できる。 ・蝶の羽の色が生存戦略にどう関係しているかを理解できる。 ・ 蝶の羽の色が生存戦略にどう関係しているかを理解できる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0				1
を定着させる。 ・プライス氏が開いた展示会について読み取らせる。 ・プライス氏の東日本大震災後の行動と理由自動運転車 ・プライス氏の東日本大震災後の行動と理由を理解できる。 ・プライス氏の東日本大震災後の行動と理由を理解できる。	0 0	0	С) 1	12
	0 0		С) 1	13
定期考査	0			+	1

	Lesson 7, Chapter 13,14,15 Miracles of Nature 行動の背景 災害と温暖化 ビッグデータ	・語句の意味、文法事項および発音を定着させる。 ・江戸時代のリサイクルシステムについて理解させる。 ・江戸時代と比較した現代の生活について読み取らせる。	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・江戸時代のリサイクルシステムについて理解できる。 ・江戸時代と比較した現代の生活について理解できる。	0	0	0	12
	Lesson 8, Chapter 16, 17, 18 Sustainable Development 「事実」なるもの ハビタブルゾーン 確証バイアス	・語句の意味、文法事項および発音を定着させる。 ・嘘をつく理由と嘘の種類について読み取らせる。 ・フェルドマンの他の研究が示す内容や彼の見解について読み取らせる。	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・嘘をつく理由と嘘の種類について理解できる。 ・フェルドマンの他の研究が示す内容や彼の見解について理解できる。	0	0	0	12
	定期考査								0	0		1
3 学期	入試問題演習	・語句の意味、文法事項および発音 を定着させる。 ・動物園を巡る論争における筆者の立場 を理解させる。 ・動物園が生物多様性の保全にどのように働きかけているかを読み取らせる。	0	0	0	0		・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・動物園を巡る論争における筆者の立場を理解できる。 ・動物園が生物多様性の保全にどのように働きかけているかを理解できる。	0	0	0	13
	入試問題演習	・語句の意味、文法事項および発音を定着させる。 ・マグロを養殖する意義と完全養殖の難 しさについて理解させる。 ・近畿大学の研究者たちがマグロの完全養殖 を成功させるまでの経緯を読み取らせる。	0	0	0	0		・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・マグロを養殖する意義と完全養殖の難しさについて理解できる。 ・近畿大学の研究者たちがマグロの完全養殖を成功させるまでの経緯を理解できる。	0	0	0	13
	入試問題演習	・語句の意味、文法事項および発音を定着させる。 ・人間が集団で柔軟に協力することを可能にしている要素が何かを読み取らせる。 ・人間の想像力によって生まれた存在や価値、世界観について理解させる。	0	0	0	0		・文法事項や語句及び発音などが理解して ・人間が集団で柔軟に協力することを可能 にしている要素が何かを理解できる。 ・人間の想像力によって生まれた存在や価 値、世界観について理解できる。		0	0	13 合 計 140

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 外国語 科目 論理表現皿

教 科: 外国語 科 目: 論理表現皿 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ F 組

使用教科書: Vision Quest English Logic and Expression皿(啓林館)・クローザー頻出英文法・語法問題(文英堂)・入試必携英作文(数研出版)

教科 外国語 の目標:

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこ 【知 識 及 び 技 能 】と、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに 応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国 【思考力、判断力、表現力等】語で情報や考えなどの論理展開や概要、要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったり、会話を発展させることができる力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体 の、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理表現Ⅲ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴や決まりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理 の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝 え合うことができる技能を身につけている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張 などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話 したり書いたりして伝え合っている。	

領域							T			_	一	
			領域話話							配业		
	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	聞	読	にゆ」	話 〔 発 〕	書	評価規準	知	思	態	当時数
1 学期	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・言えそうで言えない表現や動詞の意味を理解し適切に使うことができる。 ・適切な主語を用いて英文を書くことができる。 ・目的の表現を適切に使って英文を書くことができる。	入試問題の基礎・応用養成 クローザー Lesson1 Write to the Point Lesson1・2	0	0			0	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・言えそうで言えない表現や動詞の意味を理解し適切に使うことができる。 ・適切な主語を用いて英文を書くことができる。 ・自的の表現を適切に使って英文を書くことができる。	0	0	0	6
	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・前置詞を用いた表現を覚える。 ・理由の表現を適切に使って英文を書くことができる。 ・時制を適切に使い分け英文を書くことができる。	入試問題の基礎・応用養成 クローザー Lesson2・3 Write to the Point Lesson3・4	0	0			0	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・前置詞を用いた表現を覚える。 ・理由の表現を適切に使って英文を書くことができる。 ・時制を適切に使い分け英文を書くことができる。	0	0	0	7
	定期考査		0	0	0	0	0		0	0		1
	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・前置詞を用いた表現を適切に使うことができる。 ・時制を適切に使い分け英文を書くことができる。 ・動詞の語法を理解して適切に英文を書くことができる。	入試問題の基礎・応用養成 クローザー Lesson4・5 Write to the Point Lesson5・6	0	0			0	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・前置詞を用いた表現を適切に使うことができる。 ・時制を適切に使い分け英文を書くことができる。 ・動詞の語法を理解して適切に英文を書くことができる。	0	0	0	7
	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。・名詞・代名詞を用いた表現を学び、適切に英文を書くことができる。・関係代名詞・関係副詞を正しく理解し、適切に英文を書くことができる。	入試問題の基礎・応用養成 クローザー Lesson6・7 Write to the Point Lesson7・8	0	0			0	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・名詞・代名詞を用いた表現を学び、適切に英文を書くことができる。 ・関係代名詞・関係副詞を正しく理解し、適切に英文を書くことができる。	0	0	0	7
	定期考査		0	0	0	0	0		0	0		1
2 学期	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・英語の感覚と使い分けを学び、適切に使うことができる。 ・数字の表現を学び、適切に英文を 書くことができる。	入試問題の基礎・応用養成 クローザー Lesson8・9 Write to the Point Lesson9	0	0			0	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・英語の感覚と使い分けを学び、適切に使うことができる。 ・数字の表現を学び、適切に英文を書くことができる。				8
	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・疑問の表現および動詞を中心とした表現を学び、正しく使うことができる。 ・仮定・条件を使った基本的な表現を正しく理解して、適切に英文を書くことができる。 ・仮定・条件を使った様々な表現を正しく理解して、適切に英文を書くことができる。	入試問題の基礎・応用養成 クローザー Lesson10・11 Write to the Point Lesson10・11	0	0			0	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・疑問の表現および動詞を中心とした表現を学び、正しく使うことができる。 ・仮定・条件を使った基本的な表現を正しく理解して、適切に英文を書くことができる。 ・仮定・条件を使った様々な表現を正しく理解して、適切に英文を書くことができる。	0	0	0	8

	定期考査		0	0	0	0	0		0	0		1
	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えるよとができる。 ・動詞の様々な意味を知り、適切に使うことができる。また、形容詞を中心とした表現や前置詞を用いた表現を学び、適切に使うことができる。・比較の基本を正しく理解して、基本的な比較の英文を適切に英文を書くことができる。・比較を使った様々な表現を適切な英文で書くことができる。	入試問題の基礎・応用養成 クローザー Lesson12・13 Write to the Point Lesson12・13	0	0			0	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・動詞の様々な意味を知り、適切に使うことができる。また、形容詞を中心とした表現や前置詞を用いた表現を学び、適切に使うことができる。・比較の基本を正しく理解して、基本的な比較の英文を適切に英文を書くことができる。・比較を使った様々な表現を適切な英文で書くことができる。	0	0	0	8
	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・名詞・代名詞を用いた表現や論理展開を示す表現を学び、適切に使うことができる。 ・譲歩の表現を適切な英文で書くことができる。 ・様々な重要表現を使って適切な英文を書くことができる。	入試問題の基礎・応用養成 クローザー Lesson14 Write to the Point Lesson14・15	0	0				・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・名詞・代名詞を用いた表現や論理展開を示す表現を学び、適切に使うことができる。 ・譲歩の表現を適切な英文で書くことができる。 ・様々な重要表現を使って適切な英文を書くことができる。		0	0	8
	定期考查		0	0	0	0	0		0	0		1
3 学期	・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・様々な重要表現を適切な英文で書くことができる。	入試問題の基礎・応用養成 クローザー Lesson15 Write to the Point Lesson16	0	0				・ランダムに出題された文法語法問題を正確に答えることができる。 ・様々な重要表現を適切な英文で書くことができる。				7 合計 70

外国語 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 科目 英語演習

科 目: 英語演習 単位数: 2 単位 教 科: 外国語

対象学年組:第 3 学年 A 組~ F 組

使用教科書: (Element English Communication I (啓林館), Cutting Edge Orange (エミール)

教科 外国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの論理展開や概要、要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったり、会話を発展させることができる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語演習

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
整理しながら理解したり、自身の考えや意見を学習した語	日常的な話題の新聞記事、物語、インタビュー、ニュース、また社会的な話題の論証文や記録文を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの論理展開や概要、要点を的確に捉えている。また、本書で学習した内容について、自身の考えや意見を明確な理由や根拠とともに、詳しく伝えている。	的、自律的に伝えようとしている。理解した情報ややり取りをした内容について効果的な理由や根拠とともに、まと

			領域						Τ	Π	П	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	Chapter 1 絶滅種とDNA	・語句の意味. 文法事項および発音を定着させる。・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 2 ジョギング	・語句の意味. 文法事項および発音を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 3 ああ、私のクッキーが	・語句の意味. 文法事項および発音を定着させる。・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 4 言語の変化	・語句の意味. 文法事項および発音を定着させる。・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	定期考査								0	0		1
	Chapter 5 視覚	・語句の意味. 文法事項および発音を定着させる。・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 6 温暖化の照明	・語句の意味. 文法事項および発音を定着させる。・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 7 幸運な惑星	・語句の意味. 文法事項および発音を定着させる。・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 8 検索エンジンと記憶	・語句の意味.文法事項および発音を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	定期考査								0	0		1
2 学 期	II	・語句の意味.文法事項および発音 を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 10 リバタリアン・パターナリズム	・語句の意味.文法事項および発音を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 11 COVID-19と行動変容	・語句の意味、文法事項および発音を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 12 AIと機械学習	・語句の意味.文法事項および発音を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	定期考査								0	0		1

	Chapter 13 17世紀のSNS	・語句の意味、文法事項および発音 を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 14 米国の格差	・語句の意味、文法事項および発音 を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 15 写真のデジタル化	・語句の意味、文法事項および発音を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる。	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	Chapter 16 誤信のメカニズム	・語句の意味、文法事項および発音を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	1	0	0	3
	定期考査								0	0		1
3 学 期	入試問題演習	・語句の意味、文法事項および発音 を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	入試問題演習	・語句の意味、文法事項および発音 を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	1	0	0	3
	入試問題演習	・語句の意味、文法事項および発音 を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	入試問題演習	・語句の意味、文法事項および発音 を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	3
	入試問題演習	・語句の意味、文法事項および発音を定着させる。 ・本文の内容をを理解させる	0	0	0	0	0	・文法事項や語句及び発音などが理解している。 ・本文の内容ついて理解できる。	0	0	0	6

合 計 70 年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教 科: 総合的な探究の時間 科 目: 総合的な探究の時間 単位数: 1 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ F 組

教科担当者: (A組:小川) (B組:尾方) (C組:宇佐美) (D組:吉田) (E組:佐藤) (F組:太田) 使用教科書: ()

教科 **総合的な探究の時間** の目標:

【知 識 及 び 技 能】 これまで学習した各教科・科目の知識・技能を基礎に、持続可能な社会の形成に求められる現状と解決すべき課題を理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】持続可能な社会の形成を担うリーダーに求められる資質・能力・態度とは何かを探究し、自己の在り方・生き方や進路についての 考察を深めることができる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的な探究に粘り強く取り組み、他者と協働してより良い解決策を生み出し、実践することができる。

科目 総合的な探究

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・通常の文章のほか、図やグラフ、表等テキストから情報を取り出し、理解・解釈する力を身につける	・自らの考えを記述・論述するとともに、わか	・自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに自己評価に基づき改善する ・問題解決にあたって、粘り強く考え、よりよい解決策を導く

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	キャリア教育(自己の適性を深める) <導入> 総合探究についてのオリエンテー ション <展開1> 調査研究 レポート	全体説明会 生徒は年間の総合探究の目的と活動形態について理解させる キャリア学習ならびにレポート提 出を次の内容で行わせる: ・大学、専門学校研究 (取得資格、職業研究)	<観点>④知識・技能⑤思考・判断⑥主体的に取り組む態度○レポート、発表や討論、学習に対する取組みの様子から総合的に評価する。	0	0	0	13
2 学期	 (展開 2 > 担任との質疑 (入試制度の理解) (展開 3 > 入試制度についての説明 (中間報告 2 > レポートの提出 (展開 4 > 発表 (受験校の選択) 	レポートの内容をもとに担任が個に応じた指導を行わせる。 ・推薦入試制度研究 (指定校推薦・公募推薦・AO推薦) ・共通テスト入試研究 (評定平均値、志願書記入)・特別活動の成果とまとめ・面接テスト研究 ・入試応募研究 ・入試手続き研究 ・自分の進路探究をまとめ発表を行わせる。	○生徒の自己評価を活用する。 ○活動の状況を教師が観察して評価する。 ○レポートや模擬面接などから、自己理解を 深め、適切に自己表現できたかを評価する。	0	0	0	13
3 学期	<展開5>個人面談の実施 (評価と改善) (評価と改善) <報告> レポートの提出	 ・入試結果報告書作成 (反省点、対策点報告) ・2年生へ入試体験談を語らせる。 ・「卒業後の夢」を語り合わせる。 		0	0	0	9 合計 35